

2023年度  
環境経営レポート

(対象期間：2023年1月～2023年12月)

発行年月日：2024年8月1日

株式会社 山下組

# 目 次

1	環境経営方針	P.2
2	事業概要&認証登録範囲	P.3
3	実施体制	P.4
4	環境経営目標	P.5
5	環境経営計画	P.6
6	環境経営目標の実績	P.7
7	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	P.9
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	P.10
9	代表者による全体評価と見直し結果	P.10

# 1 環境経営方針

## <環境理念>

株式会社山下組は、全社員が環境問題を認識し、建設業の事業活動を通じて、社員一丸となって環境負荷の低減に取り組んで行くことを誓約します。

## <行動指針>

- 1、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- 2、一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努めます。
- 3、水の適正な利用と排水量の削減に努めます。
- 4、環境に配慮した工事を推進します。
- 5、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守します。
- 6、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- 7、継続的な改善に取り組むことを誓約します。

制定日：2013年 7月31日  
改定日：2023年 4月 1日(第3版)

株式会社 山下組

代表取締役社長 菅原 陽一

## 2 事業概要 & 認証登録範囲

### 1 名称及び代表者名

株式会社 山下組  
代表取締役社長 菅原 陽一

### 2 所在地

本 社 岩手県花巻市上根子字石川原78番地1  
TEL 0198-22-2111  
FAX 0198-22-2110

### 3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役副社長 菅原 健太  
TEL・FAX 本社と同じ

### 4 事業活動の内容

土木工事、建築工事、とび・土工工事、舗装工事、解体工事、林業、太陽光発電事業

### 5 許可の内容

建設業許可 岩手県知事(特-4)第840号  
産業廃棄物収集運搬業 第00302154769号(自社分のみの収集運搬)

### 6 事業規模

資本金 7,000万円

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	1459	935	731
従業員	人	39	39	39
事務所床面積	m <sup>2</sup>	478.6	478.6	478.6
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	499.2	499.2	499.2

### 7 認証・登録対象範囲

認証・登録事業者：株式会社 山下組  
対象活動：特定建設業(土木工事、建築工事、とび・土工工事、舗装工事、解体工事)  
林業、太陽光発電事業  
対象組織：本社

### 8 営業範囲

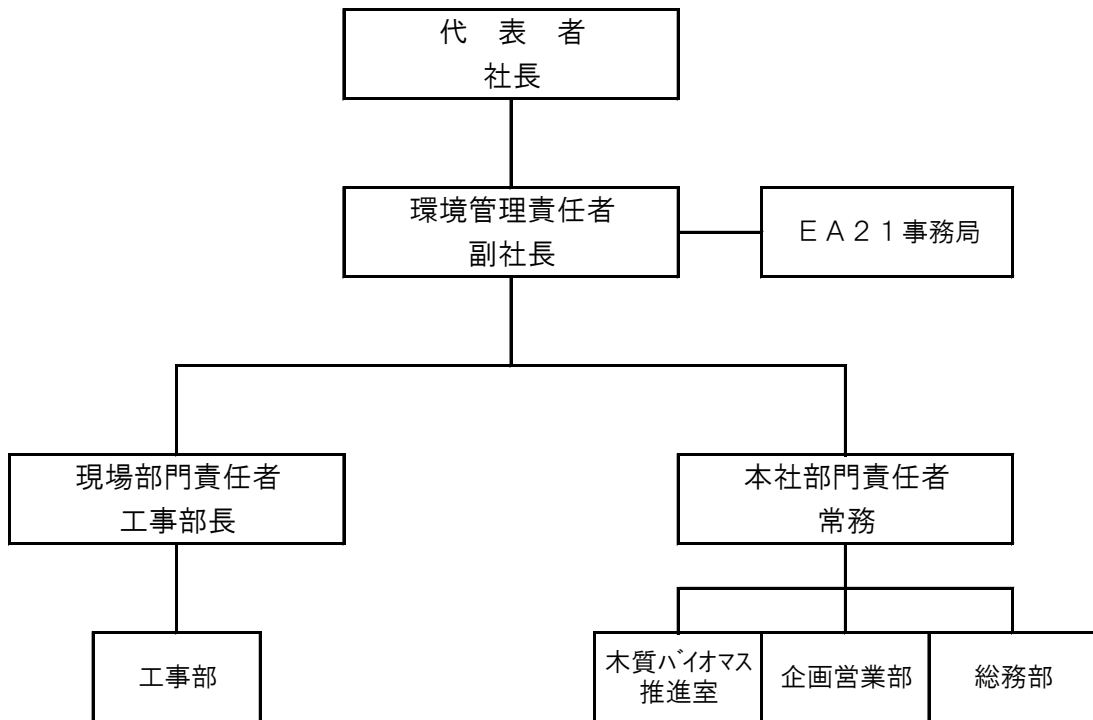
岩手県全域及び宮城県内の一部市町村

### 9 社歴

大正 9年 4月 1日 創業  
昭和30年 4月 2日 建設業登録 資本金100万円  
昭和37年 4月 2日 菅原万次郎 代表取締役社長に就任  
昭和40年11月10日 資本金 400万円に増資  
昭和47年12月27日 資本金 1,000万円に増資  
昭和51年12月 1日 花巻市不動に本社移転  
昭和52年 5月17日 資本金 4,000万円に増資  
昭和53年12月 5日 資本金 5,000万円に増資  
昭和61年10月16日 資本金 7,000万円に増資  
平成 5年 2月17日 菅原 一司 代表取締役社長に就任  
平成16年 2月10日 菅原 一司 代表取締役会長に就任  
菅原 陽一 代表取締役社長に就任  
平成19年10月15日 花巻市上根子字石川原に本社移転

### 3 実施体制

#### 1 組織図



#### 2 役割・責任・権限表

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を任命し、環境経営方針(環境理念・行動指針)を決定する</li> <li>・取組みに必要な資源(人員・設備・費用)を用意する</li> <li>・全体の評価と見直しを行う</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に代わってエコアクション21の構築・運用を行う</li> <li>・代表者に取組結果を報告する</li> <li>・環境経営レポートを作成し、公開する</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐する</li> <li>・必要なデータの集計・分析を行う</li> <li>・各部門の取組状況を把握し、環境管理責任者に報告する</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各業務で取組みを推進・実施し、社員の取組みをチェックする</li> <li>・必要な教育訓練を計画・実施する</li> <li>・環境管理責任者に報告し、是正・改善処置を行う</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められたことを守り、部門責任者の下で取組みを徹底して行う</li> <li>・エコアクション21に関する教育訓練やセミナーを受講し、理解を深める</li> <li>・地域貢献活動に積極的に参加する</li> </ul>

## 4 環境経営目標

### 1 環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

本社

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	40,468	50,310	48,029	47,588
一般廃棄物排出量	kg	2,510	1,300	1,220	1,500

注：二酸化炭素排出に係る電力の排出係数は、東北電力の2017年度調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用して算定

2022年度からは東北電力の2021年度調整後排出係数0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用して算定

総排水量の項目が無いのは、当社では地下水をポンプで汲み上げて利用しており、計測不可能な為

現場

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	420,540	465,883	244,993	327,012
産業廃棄物排出量	t	1.69	0.31	0.02	0.00

注：産業廃棄物は最終処分の数量で、集計期間は4月～3月

2019年度から最終処分の数量のみで集計

### 2 環境経営目標の設定

当社では、2021年度を基準年度として中期及び単年度の環境経営目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境経営目標

基準年度(2021年度)比の削減(増加)率(%)

項目	単位	基準年	中期目標(内単年度目標)		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	基準値	2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
一般廃棄物排出量	kg		2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
産業廃棄物排出量	t		0.00t	0.00t	0.00t
環境配慮工事の推進	件		2件以上	2件以上	2件以上

注：総排水量の削減については、地下水をポンプで汲み上げているので電気量の削減により管理する

## 5 環境経営計画

当社では、環境経営方針に基づいて二酸化炭素・廃棄物を削減し、環境経営目標を達成する為に社員一丸となって取り組んでいます。取組内容は表3のとおりです。

表3 環境経営計画の主な取組内容

項目		取組内容
二酸化炭素	電気	昼休みは必ず消灯する
		使っていない部屋の照明は必ず消灯する
		冷暖房の設定温度(冷房28℃・暖房25度)を守る
		退社時は、OA機器の電源を必ず切る(PCはモニターも含めて)
	ガソリン 軽油	アイドリングストップを徹底する
		急発進・急加速・空ぶかしをしない
		冷暖房は控えめに使用する
灯油・LPG	整理・整頓を徹底し、必要の無い荷物は積まない	
	冷暖房の使用条件(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)を守る	
廃棄物	一般 廃棄物	書類の内容を見直して枚数を少なくする
		両面印刷・両面コピーを徹底する
		裏紙の使用を徹底する
		スキャニングをして書類のデータ化を徹底する
	産業 廃棄物	発生した産業廃棄物の分別・保管を徹底する
		一般ゴミが混ざらないように定期的にチェックする
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)で産業廃棄物を適正に処理する	
排水量	節水	蛇口の水漏れがないか確認する
		水を出しっぱなしにしない
		節水の表示を行う
環境配慮工事の推進		現場の周辺環境に対して、施工上の配慮事項の提案をする
		低振動・低騒音の重機械の使用等、環境に配慮した施工を行う
社員教育		朝礼・掲示板・電子メールを利用した啓発で理解を深める
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める
地域貢献		地元の高校生の職場体験を受け入れて、建設業の仕事の面白さを伝える
		地域や協会の清掃活動等の呼び掛けには積極的に参加する

## 6 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。今回は、2023年度全体(2023年1月～12月)の実績と評価結果について、表4のとおり報告致します。なお、総量のほかに補助指標として「総売上高比」でも達成状況の確認を行います。

表4 当該年度の環境経営目標の達成状況等

○：達成 ×：未達成 CO<sub>2</sub>：二酸化炭素排出量  
総売上高比：売上百万円当たりの二酸化炭素排出量

本社

項目	単位	基準値	2023年度			達成状況
			目標	目標値	実績値	
電力(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	18,517	3.0%削減	17,962	19,684	×
総売上高比	kg/百万円	12.69		12.31	26.93	
LPG(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	10,070		9,767	12,408	×
総売上高比	kg/百万円	6.90		6.69	16.97	
ガソリン(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	17,132		16,618	14,769	○
総売上高比	kg/百万円	11.74		11.39	20.20	
灯油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	1,917		1,860	727	○
総売上高比	kg/百万円	1.31		1.27	0.99	
CO <sub>2</sub> 合計	kg-CO <sub>2</sub>	47,636		46,207	47,588	×
総売上高比	kg/百万円	32.65		31.67	65.10	
一般廃棄物排出量	kg	1,300		1,261	1,500	×
総売上高比	kg/百万円	0.89		0.86	2.05	

現場

項目	単位	基準値	2023年度			達成状況	
			目標	目標値	実績値		
ガソリン(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	36,692	3.0%削減	35,591	35,825	×	
総売上高比	kg/百万円	25.15		24.39	49.01		
軽油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	422,476		409,802	285,391	○	
総売上高比	kg/百万円	289.57		280.88	390.41		
灯油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	6,716		6,515	5,797	○	
総売上高比	kg/百万円	4.60		4.47	7.93		
CO <sub>2</sub> 合計	kg-CO <sub>2</sub>	465,883		451,907	327,012	○	
総売上高比	kg/百万円	319.32		309.74	447.35		
産業廃棄物排出量	t	0.00		最終処分量 0.00t	0.00	0.00	○
総売上高比	t/百万円	0.0000			0.0000	0.0000	
環境配慮工事	件	2件以上		2件以上		3件	○

注：産業廃棄物排出量の集計期間は2023年4月～2024年3月



## 環境活動の状況

項目	回数・日時	活動名	人数
安全	毎週	安全朝礼	全員
	毎月	安全衛生委員会	委員
	年1回	安全大会	全員
	年1回	緊急事態訓練	全員
地域貢献	2023/04/13	北上川河川敷清掃活動	3名
	2023/05/25	太田幹線排水路アドプト活動	6名
	2023/05/27	豊沢川水源地におけるゴミ回収作業	4名
	2023/06/06	建設業ふれあい事業(小学校)	1名
	2023/07/10	建設業ふれあい事業(中学校)	1名
	2023/07/25～26	太田幹線排水路アドプト活動	10名
	2023/08/08	「道の日」関連道路清掃活動	3名
	2023/09/22	「空の日」関連空港周辺道路清掃活動	3名
	2023/10/12	体験実習(高校)	1名
	2023/11/04・10	太田幹線排水路アドプト活動	5名

## 実績についての評価

### 【本社】

今年度はガソリン・灯油の二酸化炭素排出量のみ目標達成し、他の項目は目標未達成でした。未達成となった要因は、12月～3月の期間の電力消費量が増加したことと、冷房の利用による7月～9月のLPG消費量が増加したことです。特に今年度は異常に暑い時期が長く続いたことが消費量の増加に影響したと思います。取組内容は守れていたと思います。来年度は未達成項目が目標達成できるように、啓発を定期的に行っていきます。

### 【現場】

今年度はガソリンの二酸化炭素排出量が目標未達成となりましたが、その他の項目は全て目標達成できました。ガソリンもほんの少しの差で未達成という状況でした。昨年度の消費量と比べると増加しましたが、来年度も目標達成できるように取り組みを徹底していきたいと思います。

## 7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1 取組結果の評価

表5 環境経営計画の主な取組内容と評価

項目		取組内容	評価
二酸化炭素	電気	昼休みは必ず消灯する	○
		使っていない部屋の照明は必ず消灯する	○
		冷暖房の設定温度(冷房28℃・暖房25℃)を守る	○
		退社時は、OA機器の電源を必ず切る(PCはモニターも含めて)	○
	ガソリン 軽油	アイドリングストップを徹底する	○
		急発進・急加速・空ぶかしをしない	○
		冷暖房は控えめに使用する	○
灯油・LPG	整理・整頓を徹底し、必要の無い荷物は積まない	○	
廃棄物	一般 廃棄物	冷暖房の使用条件(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)を守る	○
		書類の内容を見直して枚数を少なくする	△
		両面印刷・両面コピーを徹底する	○
		裏紙の使用を徹底する	○
	産業 廃棄物	スキヤニングをして書類のデータ化を徹底する	△
		発生した産業廃棄物の分別・保管を徹底する	○
排水量	節水	一般のゴミが混ざらないように定期的にチェックする	○
		産業廃棄物管理票(マニフェスト)で産業廃棄物を適正に処理する	○
		蛇口の水漏れがないか確認する	○
環境配慮工事の推進	節水	水を出しっぱなしにしない	○
		節水の表示を行う	○
社員教育	環境配慮工事の推進	現場の周辺環境に対して、施工上の配慮事項の提案をする	○
		低振動・低騒音の重機械の使用等、環境に配慮した施工を行う	○
地域貢献	社員教育	朝礼・掲示板・電子メールを利用した啓発で理解を深める	○
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める	○
地域貢献	地域貢献	地元の高校生の職場体験を受け入れて、建設業の仕事の面白さを伝える	○
		地域や協会の清掃活動等の呼び掛けには積極的に参加する	○

○：評価できる △：まずまず評価できる

### 2 次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減  
引続き電気と冷暖房の使用に関係する取り組みを徹底する
- (2) 廃棄物の排出削減  
一般廃棄物(特に紙)の排出量の削減を徹底する
- (3) 節水  
水の出しっぱなしを減らすよう意識して取り組む
- (4) 環境配慮工事の推進  
引続き継続して実施する
- (5) 社員教育  
オンライン型の環境関連のセミナーも利用しながら社員教育を行う
- (6) 地域貢献活動  
積極的に参加し、環境に対しての意識を高める

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規等の一覧の妥当性及びその遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情・訴訟等についても特に問題はありませんでした。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
環境経営方針	概ね達成	内容を一部見直す
環境経営目標	電気とLPGの消費量は目標未達成が続いているが、必要不可欠な状況の為、無駄に消費しないよう全員で気を付ける	内容を一部見直す
環境経営計画及び環境経営システム	概ね達成	内容を一部見直す
実施体制	特に問題なし	特になし(継続)
その他		経営合理化・環境負荷削減に関する改善提案は引続き行う
全体評価		
<p>2023年度は前年度と同様の工事量の中での取り組みであった。年々気温が上昇していることで冷房の使用時間が増えてしまうのは理解できるが、無駄に使用することのないよう取り組みを徹底すること。また、当社で使用しているアプリケーションやソフトをできる限り使いこなし、紙の消費量を減らして一般廃棄物排出量の削減に繋げること。現場部門は引続き無駄に各燃料を消費することのないように取組内容を意識して作業を行うこと。</p>		